ルートマップと地質図の作り方

解　説

目　的

地質調査を行ない、各露頭で地そうの走向・傾斜・岩質などを調べそれをもとにして地質図および地質断面図をつくり、その地域の地史を読みとる。（この実習では地表は水平面であり、地質調査済みと仮定する。）

準　備

定規・ものさし・色鉛筆・分度器またはクリノメーター

作　業

①次の表に示す各露頭の調査資料を、図１における路線の各露頭の位置に、③、⑨の例に従って、記入する。

②図１の路線上に露頭のない部分や調査できない部分（中央部）の地質を推考し、⑤、⑦の例に従って地質平面図をかく。

③図１のX－Y線で切る地質断面図の一部の例が図２にかかれているので、これを完成する。

露　頭	地層面の走向・傾斜	岩質	
		上　盤	下　盤
①	N20°W　30°E	砂　岩	石灰岩
②	N－S　50°W	泥　岩	砂　岩
③	N20°W　30°E	泥　岩	砂　岩
④	N20°W　30°E	凝灰岩	泥　岩
⑤	N20°W　30°W	凝灰岩	泥　岩
⑥	N20°W　30°E	凝灰岩	泥　岩
⑦	N20°W　30°W	凝灰岩	泥　岩
⑧	N20°W　30°E	凝灰岩	泥　岩
⑨	N－S　50°W	泥　岩	泥　岩
⑩	N20°W　30°E	泥　岩	砂　岩

＊　②と⑨は断そう面、その他は地そう面

注　意

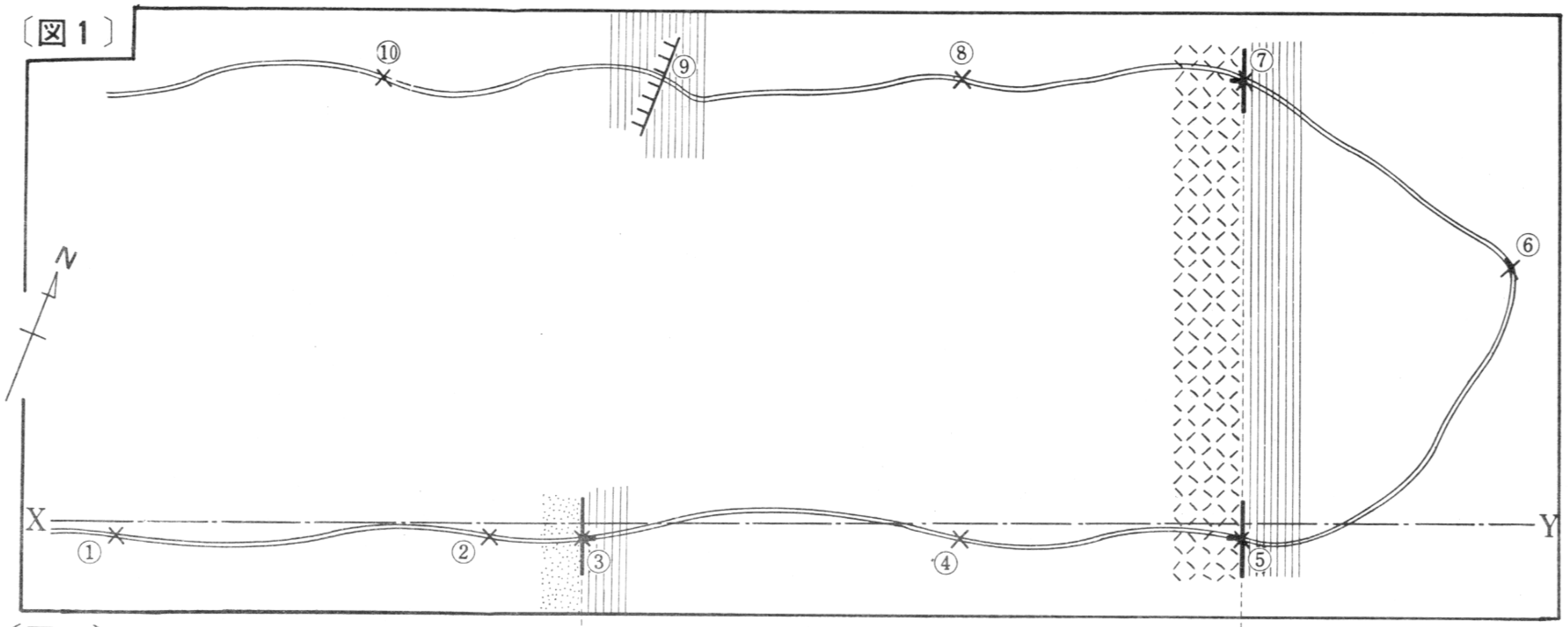
岩質の違いは、色分けして示す。石灰岩は青色、砂岩は茶色、泥岩は黄色、凝灰岩は黄緑色にする。

地そうの種類を判定するには、断そう面を境に接している地そうの新田をみる。断そう面の上盤に新しい地そうがあり、下盤に古い地そうがあるときを正断層とよぶ。断そう面の上盤に古い地そうがあり、下盤に新しい地そうがあるときを逆断層とよぶ。

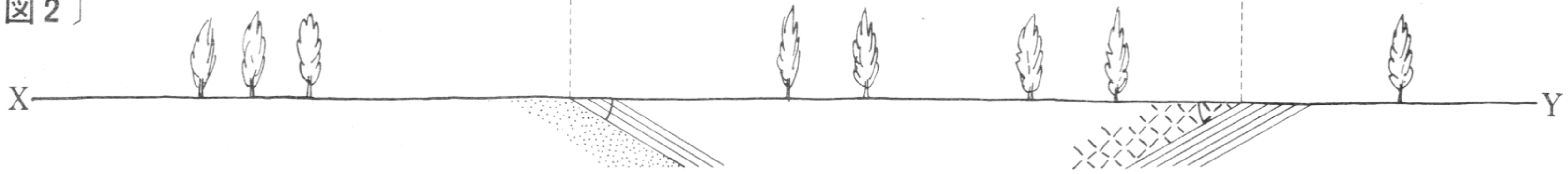
応用問題

図２にある断層は正断層かそれとも逆断層か　［　　　　］

〔図１〕



〔図２〕



年	組　席	氏　名